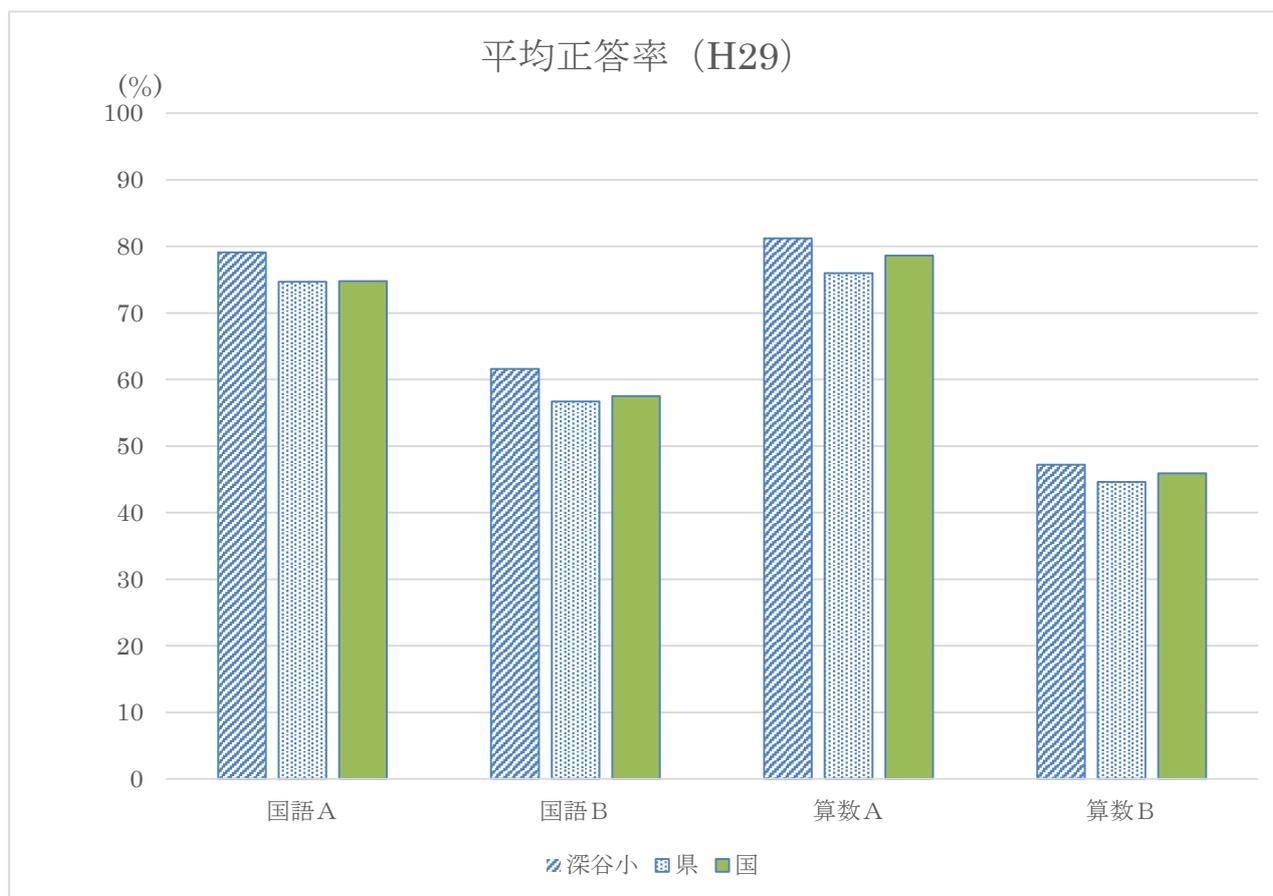


平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果(深谷小学校)

平均正答率

※ここで示す全国との比較は、全国平均を100とした場合の深谷小の値です。

年度		国語A	国語B	算数A	算数B
H29	深谷小	79.1	61.6	81.2	47.2
	県	74.7	56.7	76.0	44.6
	国	74.8	57.5	78.6	45.9
	全国との比較	105.7	107.1	103.3	102.8
H28	深谷小	78.9	65.2	82.5	51.5
	国	72.9	57.8	77.6	47.2
	全国との比較	108.2	112.8	106.3	109.1



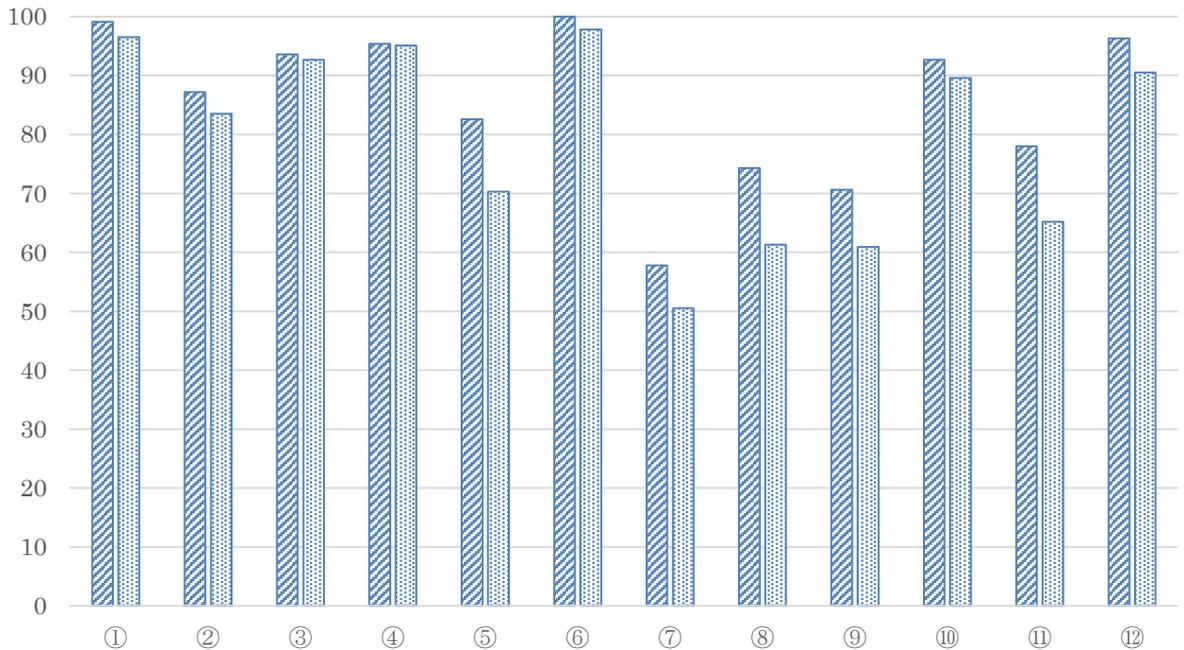
質問紙調査より

※「している」「どちらかといえばしている」の値 ※質問紙調査92項目より抜粋 (単位 %)

	質問事項	深谷小	県	国	県比較
生活習慣	①毎日朝食を食べている	99.1	96.5	95.4	+2.6
	②毎日、同じくらいの時刻に寝ている	87.2	83.5	79.8	+3.7
	③毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.6	92.7	91.2	+0.9
	④学校のきまりを守っている	95.4	95.1	92.6	+0.3
学習習慣	⑤家で、自分で計画を立てて勉強している	82.6	70.3	64.5	+12.3
	⑥家で学校の宿題をしている	100.0	97.8	96.9	+2.2
	⑦家で、学校の授業の予習をしている	57.8	50.5	41.0	+7.3
	⑧家で、学校の授業の復習をしている	74.3	61.3	53.8	+13
教科への関心	⑨国語の勉強は好きだ	70.6	60.9	60.5	+9.7
	⑩国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	92.7	89.6	87.9	+3.1
	⑪算数の勉強は好きだ	78.0	65.2	65.9	+12.8
	⑫算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	96.3	90.5	89.1	+5.8

H29質問紙調査 (抜粋)

(%)



(質問項目番号)

■ 深谷小 ■ 県

深谷小の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

○国語・算数ともに、正答率が国や県よりも上回ることができ、基礎的な学力を確実に習得して活用できた。

【国語】

- A 問題の正答率が高い
- 無回答が少ない
- 漢字の定着が図れていない
- 目的や意図に応じて整理して書くことが苦手である

【算数】

- A 問題、特に短答式の問題は正答率が高い
- 図形や資料の読み取りができない
- 問題を正確に読み取ることができない
- B 問題が課題である

【質問紙】

- しっかりと朝食をとっている児童が多い
- 学校の宿題に毎日欠かさず取り組んでいる
- 学校の授業の予習や復習に取り組む児童が少ない

課題への取組・改善策

【国語】

- ・「Let's Study」の取組で、基礎学力の確実な定着を図るとともに、B 問題のような発展的で活用力を計る問題の類似問題を解く経験を多く積ませる
- ・朝の基礎タイムでのコラム学習や、全校朝会の校長講話で、内容や感想を短くまとめて書く活動を継続していく
- ・授業の中で振り返りの活動を大切にしていき、自分の感想や意見を書く活動を継続していく

【算数】

- ・既習した学習内容を活用させる授業に意識的に取り組む
- ・朝の基礎タイムやで、過去問題に繰り返し取り組み、問題に慣れさせる
- ・少人数指導や習熟度別指導、個別指導を充実させる
- ・自分の考えを説明する活動を取り入れた授業づくりを工夫する

【その他】

- ・自主学習ノートを活用させながら、発達段階に応じた家庭学習に取り組む
- ・身近で自分のこととして考えられる教材や、目的意識を明確にした活動を工夫する
- ・ねらいとまとめ、振り返りの活動を明確に示した授業づくりに全教員で取り組む